

医療安全推進ネットワーク交流会

日時：2025年 8月 4日（水）13:30～

場所：神奈川県看護協会 第一研修室



【本日のスケジュール】

- 13:30～ 協会より伝達事項
- 13:40～ 新規会員の方の自己紹介

～安全に関わる多職種との連携　自施設の活動について～

- 13:45～ 前半（発表10分 + 質疑応答5分）

- ①A病院 薬剤科 科長様
- ②B病院 医療安全管理者様
- ③C病院 臨床工学科係長様

- 休憩

- 14:40～ 後半（発表30分 + 質疑応答15分）

- ④D病院
医療安全管理室専従事務様
検査科 科長様
循環器内科部長様

- 15:30～ 9月の交流会について



1. 日本医療機能評価機構

■ 医療事故情報収集等事業 第81回報告書

(2025年1月～3月) (2025/06/24公開)



医療事故情報収集等事業 第81回報告書 (2025年1月～3月)



图表 I - 1 医療事故情報の報告件数と参加医療機関数

年		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
報告件数	報告義務	3,374	3,428	3,598	4,030	4,049	4,321	4,674	4,631	5,183	5,102
	任意参加	280	454	497	535	483	481	569	682	887	809
	合計	3,654	3,882	4,095	4,565	4,532	4,802	5,243	5,313	6,070	5,911
医療機関数	報告義務	275	276	276	274	274	273	273	275	275	270
	任意参加	743	755	773	797	812	834	857	883	1,022	3,703
	合計	1,018	1,031	1,049	1,071	1,086	1,107	1,130	1,158	1,297	3,973

■医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No. 224
(2025/07/15 公開)

https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_224.pdf

This image is a screenshot of the Japanese Medical Safety Information Bulletin (No. 224) from July 2025. The main title is '退院時の処方漏れによる内服の中止' (Termination of oral intake due to prescription omission at discharge). It includes sections on the main case, two examples, and a summary of points. A red arrow highlights the '处方漏れ' (Prescription omission) section.



2. 一般社団法人 日本医療安全調査機構 (医療事故調査・支援センター)

医療事故の再発防止に向けた提言 第17号

「中心静脈カテーテル挿入・抜去に係る死亡事例の分析」 -第2報(改訂版)-に関するWebアンケート集計結果(速報)

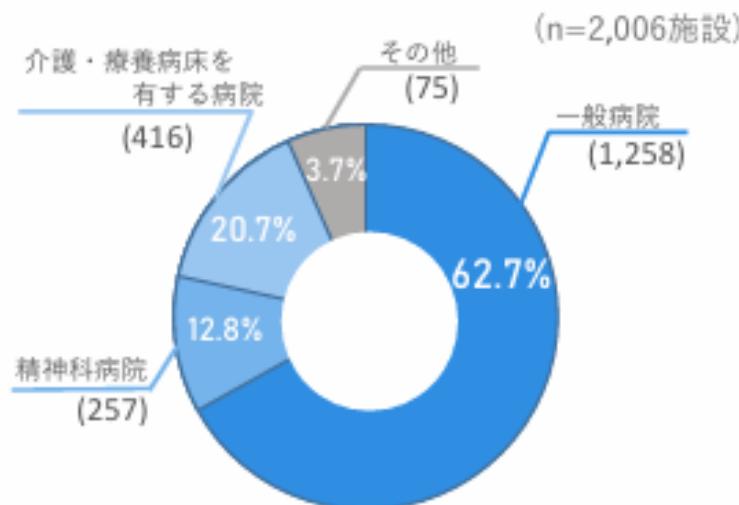


提言第17号 Webアンケート実施概要

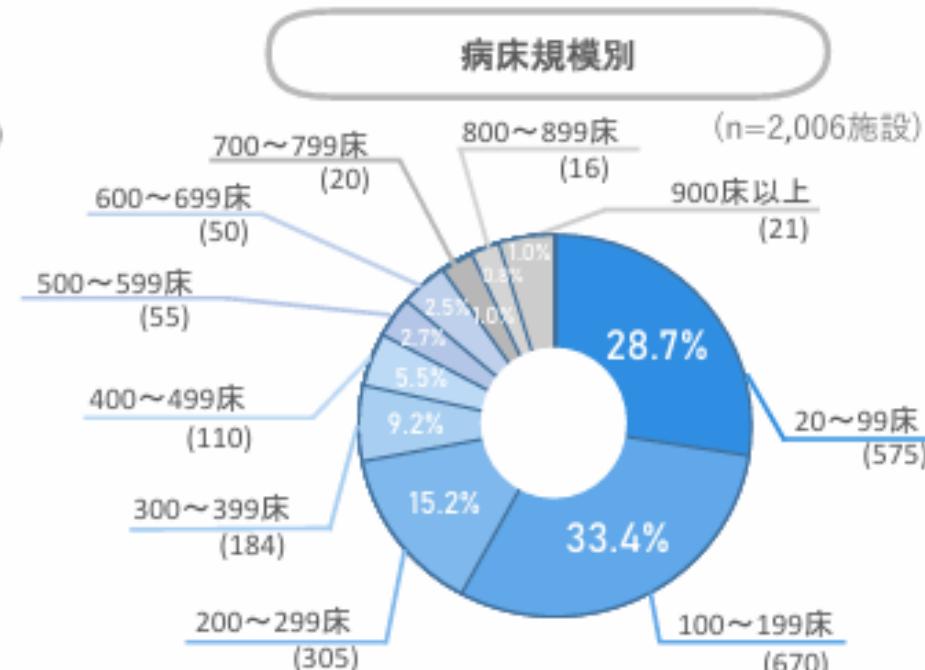
調査期間	2023年11月17日～2月16日
調査対象	8,115施設
回答数	2,006件
回答率	24.7%

施設について

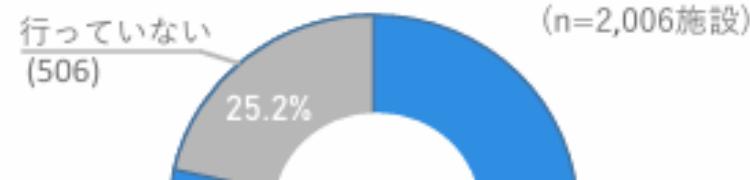
医療機関の種類別



病床規模別

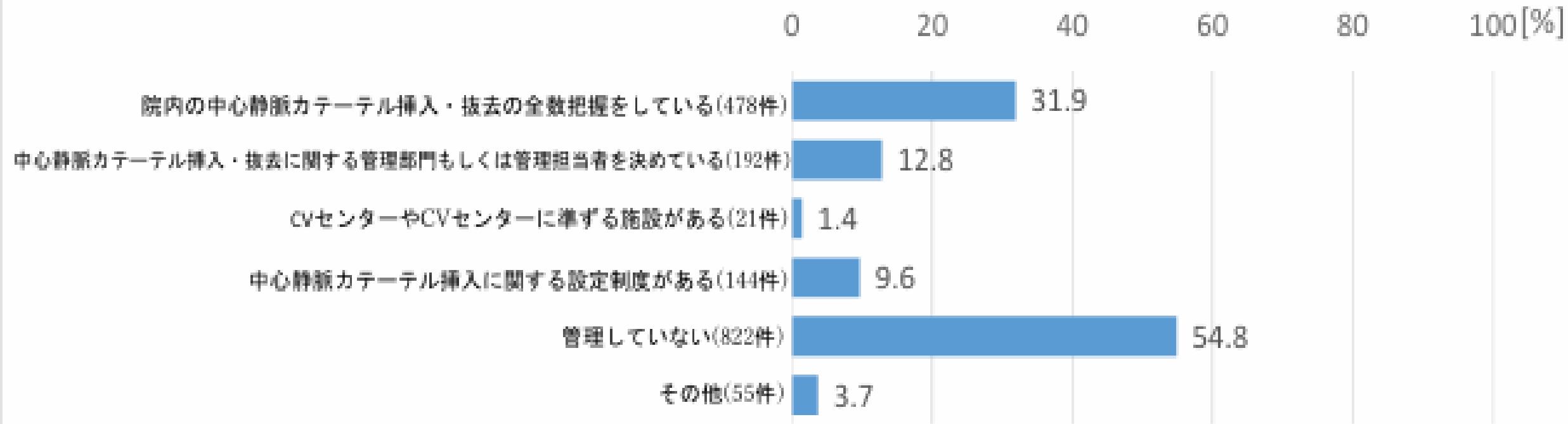


CVC挿入・抜去実施施設

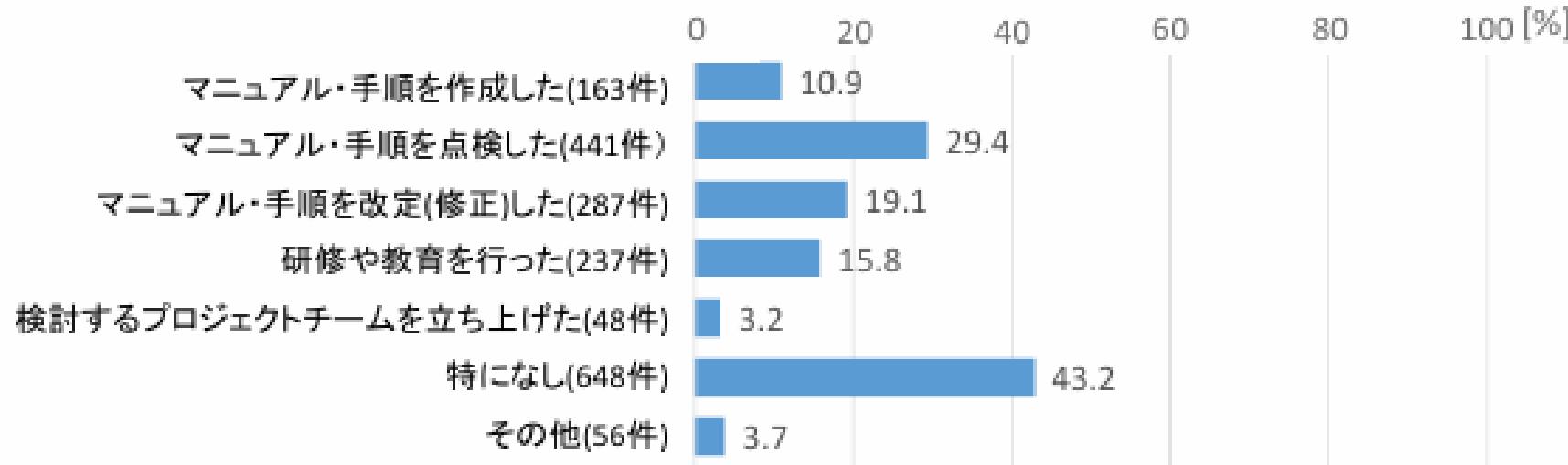


組織としての管理状況

■ 組織として管理していること (n=1,500施設) 検数回答



■ 挿入・抜去にあたり、見直した内容や新たに取り組んだこと (n=1,500施設) 検数回答

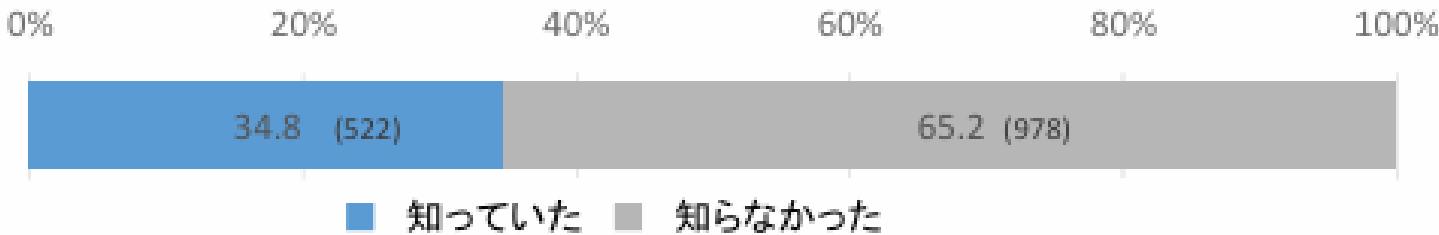


■ 他の医療機関と共有したい取り組み(具体的な内容) (n=1,500施設)

- 採用品を使用頻度ごとに一覧にしたところ、使用頻度が少ないものや、ほぼ同じ製品が複数種類あることがわかった。様々な診療科から製品の申請があり、全体像をつかめないままに採用していることが多かったが、院内採用品の全体像について把握し、その時の安全情報に基づき最適化する業務を今後定期的に行っていくべきと思った。
- PICC挿入・抜去の特定行為看護師の手順書等を医師を含めた他職種のワーキングメンバーとともに作成した。
- 抜去後、密封ドレッシング材を使用していない医師がいるということがわかり、密封ドレッシング材を使用するよう医療安全NEWSで周知した。また、動画をダウンロードし、電子カルテ上で閲覧（ログで閲覧確認）できるようにして提言の周知を行った。医師は動画の全部、看護師は一部を閲覧するように促した。
- CVC、PICC業者協力のもと、教育講義とそれに引き続きハンズオンセミナーでキットの内容確認とエコーガイドの挿入手技を行った。専攻医が研修医達に教える様子があり、認定制度を作る上での足がかりになると感じた。
- 医師のライセンス制度を導入し、専門の医師が教育、管理を行うことで、有害事象が減少した。

解説動画（提言の概要）活用状況

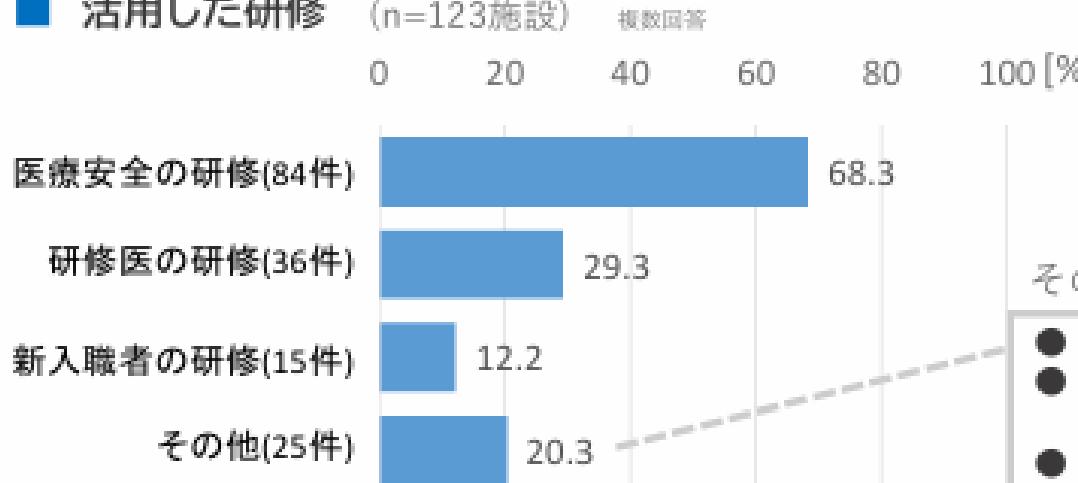
■ 解説動画(提言の概要)の周知率 (n=1,500施設)



■ 活用状況 (n=522施設)



■ 活用した研修 (n=123施設)

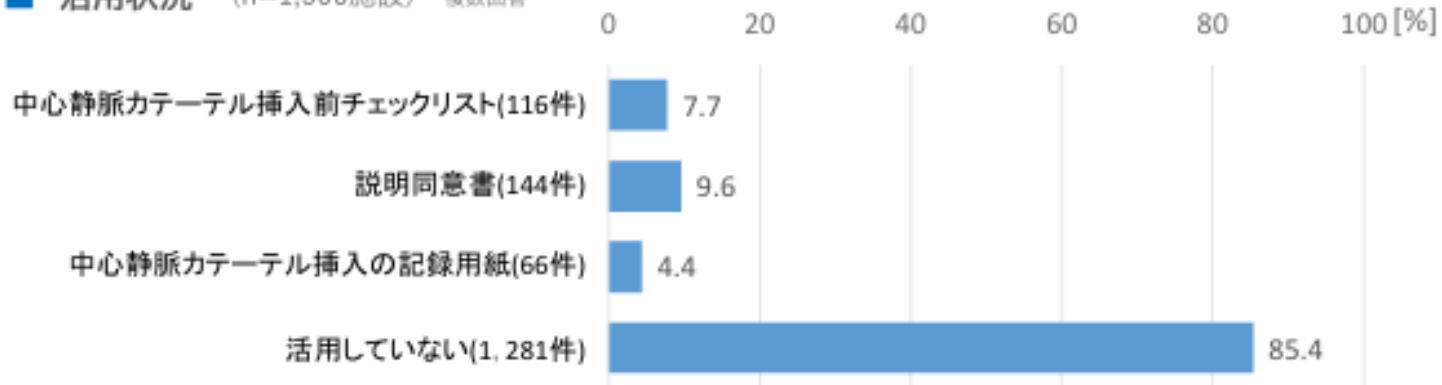


その他の主な内容

- ライセンス取得用e-learningに一部使用した。
- 医局会で医師に医療安全室長からの研修を実施した。
- 医学生実習の医療安全講習の際に利用した。

チェックリスト、同意書、記録用紙の活用状況

■ 活用状況 (n=1,500施設) 複数回答



■ 活用できなかつた理由 (n=1,281施設) 複数回答

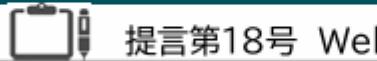


- チェックリスト等があることを知らなかった
- 院内で検討する部門や管理担当者が明確でない
- その他

その他の主な理由

- 見直しを検討しているところである。
- 中心静脈カテーテル挿入件数が少ない。
- 院内で作成したマニュアルやチェックリスト、同意書があるため、変更の必要性を感じなかった。
- 医療安全管理者の立場では活用したいが、CVカテーテルを挿入している医師の協力が得られない。また、現場の看護師も必要性を感じておらず、同意が得られなかった。
- 項目や分量が多く、医師の人数が少ないとから、現場での実施

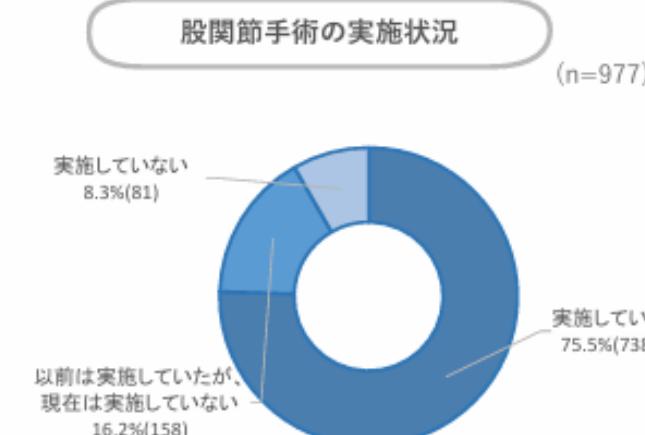
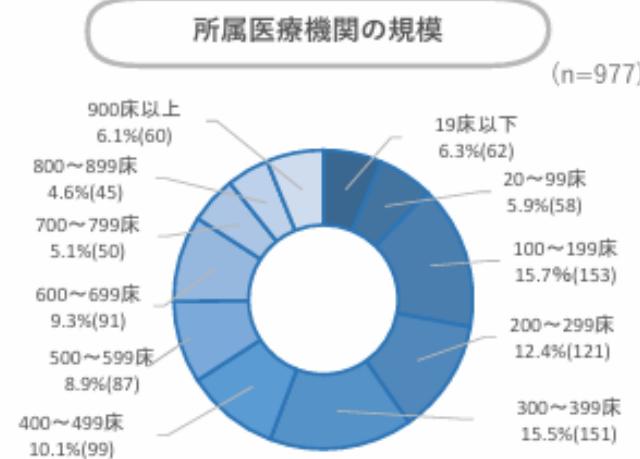
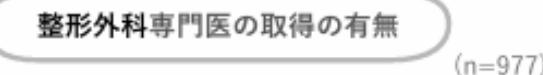
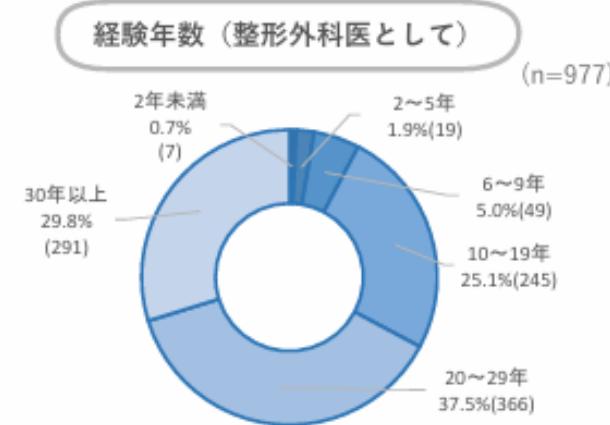
「股関節手術を契機とした出血に係る死亡事例の分析」 に関するWebアンケート集計結果（整形外科）



提言第18号 Webアンケート実施概要

調査期間 2024年11月1日～2025年2月14日

対象 日本整形外科学会に所属している学会員（約27,000名）※股関節手術を実施していない医師も含む
回答数 977名



■警鐘レポートNo. 3 「異所性妊娠に伴う卵管破裂による死亡」 (2025/07/02 公開)

https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/03_keisho_report.pdf

※対象事例の概要もあわせてご参考ください。

https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/03_jirei_gaiyou.pdf

医療事故の再発防止に向けた
警鐘レポートNo.3

医療事故調査・支援センター
2025年7月

異所性妊娠*に伴う卵管破裂による死亡

*子宮内ではない場所に受精卵が着床し（異所性妊娠）。卵管破裂による出血性ショックのため死亡した事例が全体で2例。自然妊娠で1例報告されています。

！異所性妊娠の診断が困難であった要因と経過

患者からの情報提供により 腹部症状は妊娠に関連したものではないと認識した

外来

産婦人科で妊娠検査は貰えないといつて言われました
食事が原因かわからせません

腹痛

腹痛が強いけど患者の状態からすると妊娠とは関連はなさそうかな

入院

冷汗 植膜血症低下

腹痛の訴え

腹痛の経緯

ショック状態

●事例1のイメージ図

！事例概要

事例1 本邦初を受診した事例
45歳代
体内受精で2回目の妊娠を実現

腹痛と嘔吐を主訴に急赤熱を呈し、剖腹手術を要請。患者から「産婦人科で検査し、妊娠と確認して安心感を得ました」と質問あり。原因性検査所と計画的に検討後で経尿路超音波、尿HCG、血液・血尿検査下、性器を確認。腹部触診後に心拍停止になつた。自己心肺蘇生後にCPRで蘇生成功。剖腹手術で卵管破裂が判明され、子宮剥離術順序別に施行したが毎日数回に亘る。

死因：卵管破裂卵管破裂による出血性ショック（解剖学的）

事例2 症候群を認めた事例
30歳代
自然妊娠

性器過血のためあせり受付。妊娠反応陽性だが、出血不適での急诊受診を経た。4日前、性器過血の増悪しエコによって卵管破裂の可能性が認定された。4日後、自宅にて「地」が立ち止まれば良。お風呂の湯呑は泡立ちでおり、洗濯機、さらに毎日、冷感があり、おもむろに腰痛で肛門周囲部腫脹などとなつた。経尿路超音波検査で、剖腹後の経過とともに腰痛、腹痛は受診より約1週間後、白モヤ病倒死で死亡確認。

死因：卵管破裂による出血性ショック（解剖学的）

【事例から考える再発防止】

異所性妊娠に伴う卵管破裂による死亡を回避するために

① 対 策

- 正常妊娠や流産などの情報があったとしても、腰部症状がある場合は、「異所性妊娠」も疑う
- 生殖補助医療では、異所性妊娠(正所異所同時妊娠を含む)の頻度が上昇することを認識する

この癡情は、
異所性妊娠かも!
出血性ショック
になるかもしれない!
異常妊娠

検査

異常妊娠

●検査
●出血性
ショック

妊娠可能な女性の急性腹痛の救急対応について

- 急速可逆性女性の急性腹痛の診断では、異所性妊娠の可能性を考慮する。腹部超音波等における腹膜内所見の確認や剖腹取扱いの検索を検討し、必要に応じて産婦人科につなぐ。
- 産婦人科は絶育部位検査や盆腔HCGによる初期検査の実施とLCFT/MRH検査を検討する。
- 自宅で絶育検査すると判断した場合でも、産婦科の診察が済むときには再受診するよう患者に指導する。

学会への開拓

生殖補助医療では、異所性妊娠および剖腹取扱いの新規検による正常運用の開始前の検討が求めることについて、悪性腫瘍の診断に開拓する学会において開拓されることが期待される。

*図解レポートとは、専門的な知識を持った専門家による解説、併せて、専門的な知識を持つ専門家による手書きの解説です。
*図解レポートは、専門的な知識を持つ専門家による解説、併せて、専門的な知識を持つ専門家による手書きの解説です。
*図解レポートは、専門的な知識を持つ専門家による解説、併せて、専門的な知識を持つ専門家による手書きの解説です。
*図解レポートは、専門的な知識を持つ専門家による解説、併せて、専門的な知識を持つ専門家による手書きの解説です。

医療報道室・医療ランナー

■提言第19号「肺動脈カテーテルに係る死亡事例の分析
第1部 開心術編／第2部 検査編（2024年2月）」の
アンケート結果（2025/06/26公開）

第19号アンケート（開心術編）心臓血管外科 集計結果

<https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/teigen-19anketo1-1.pdf>

第19号アンケート（開心術編）心臓血管麻酔科 集計結果

<https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/teigen-19anketo1-2.pdf>

第19号アンケート（検査編）循環器科 集計結果

<https://www.medsafe.or.jp/uploads/uploads/files/teigen-19anketo2.pdf>

3. 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 PMDA

■レミフェンタニル塩酸塩の適正使用に関するお知らせ (2025/07/14 公開)

<https://www.pmda.go.jp/files/000276239.pdf>

■医薬品添付文書改訂相談に基づく添付文書改訂 (2025/06/25 公開)

ダラツムマブ（遺伝子組換え）/ボルヒアルロニダーゼアルファ
(遺伝子組換え) の「使用上の注意」等の改訂について

<https://www.pmda.go.jp/files/000275892.pdf>

レナリドミド水和物の「使用上の注意」の改訂について

<https://www.pmda.go.jp/files/000275891.pdf>

県医療関係6団体による安全で安心、信頼される医療サービス提供の推進

神奈川県医療安全推進セミナー

テーマ

「医療安全の歴史から理解する基礎知識
～医療事故の歴史・医療政策の意味・
医療安全の基礎知識をまとめて解説～」

参加費
無料



9 / 6 土 14:30~16:30 (受付14:00~)

ハイブリッド開催(会場・オンライン) •会場(神奈川県総合医療会館7階)



講師

菊地 龍明 先生

[横浜市立大学附属病院]
医療の質向上・安全管理センター
医療安全管理部 部長
医療安全・医療管理学 教授
病院長補佐、安全管理指導者



主催：神奈川県医療安全対策事業実行委員会
神奈川県／神奈川県医師会／神奈川県歯科医師会／神奈川県薬剤師会
神奈川県看護協会／神奈川県病院協会

神奈川県医療安全 推進セミナー

9月6日（土） 14:30~16:30

テーマ

医療安全の歴史から理解する基礎知識
～医療事故の歴史・医療政策の意味・医療安全の
基礎知識をまとめて解説～

会場 神奈川県医療会館 7階講堂

*ハイブリット開催

参加費 無料

ポスターをお持ち帰りください！